

2024年度4月期入学

第2次

京都大学大学院情報学研究科

先端数理科学コース
修士課程学生募集要項

(2023年12月実施)

京都大学大学院情報学研究科

情報学研究科アドミッション・ポリシー

京都大学情報学研究科の掲げる「情報学」は、広く自然、人工、社会および生命システムにおける「情報」を対象としており、情報学研究科の教育研究は「人間・社会と情報とのインターフェース」、「数理モデリング」、「情報システム」というキーワードを3本の柱とする「広い意味での情報学」で特徴づけられています。情報学研究科ではこれらのキーワードに関連する個々の学術分野において新しい学術や技術を創生するだけでなく、情報の本質を理解し、情報技術が人類・社会に与える影響を理解し、情報に関する科学・技術が正しい方向に進展することを目指し、京都大学の目指す地球社会の調和ある共存の実現に「広い意味での情報学」の視点から貢献しようとしています。

情報学研究科の求める大学院生像は、このような研究科の理念を理解し、情報学研究科の掲げる「広い意味での情報学」の学術や技術の学修に熱意を持ち、また未来に向けて情報学の新たな領域を開拓しようとする意欲を持った優秀な学生と考え、そのような人材の幅広い受け入れを考えています。そのため、志願者の学修・研究を志す学術分野について一定の基礎学力を有していれば、「広い意味での情報学」と関わる多様なバックグラウンドの学生を、理系・文系という枠組みにとらわれず、また国内に限らず世界中から、広く受け入れます。また、既に社会に出て活躍している人に対しても、情報学を熱意をもって学ぼうとする人には広く門戸を開きます。

具体的な選抜基本方針としては、京都大学が望む、優れた資質を有して学問に対する意欲に溢れた人材に対して、情報学研究科の目指す「広い意味での情報学」に関わるいずれかの学術分野に関心を持ち、その分野に関する基礎学力と高いコミュニケーション能力を有する人材を、筆記試験と口頭試問等の組み合わせにより評価し、出身にとらわれずに幅広く受け入れます。さらに博士後期課程では、各自の専攻学術の基礎学力を背景に「広い意味での情報学」の最先端の知見を熱意をもって学修しようとする意志と能力を提出された書類等によって評価し、今後の情報学の発展に寄与する学術の創生や技術開発の研究に熱意をもって取り組む人材を受け入れます。

本研究科の修士課程は、大学院設置基準第4条第4項にいう博士課程の前期2年の課程である。

I. 募集人員

先端数理科学コース 5名

II. 出願資格

◎ 次の各号のいずれかに該当する者、あるいは、2024年3月末をもって、該当する見込みの者。

- 1 日本の大学又は専門職大学を卒業した者
- 2 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者
- 3 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者（注2）
- 4 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者（注2）
- 5 我が国において、外国の大学（専門職大学に相当する外国の大学を含む。以下この項において同じ。）の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者（注2）
- 6 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者（注2）
- 7 文部科学大臣が指定する専修学校の専門課程を文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- 8 文部科学大臣の指定した者
- 9 日本の大学又は専門職大学に3年以上在学した者（学校教育法第102条第2項の規定により、これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）であって、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本研究科が認めた者（注3、注4）
- 10 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学又は専門職大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達している者（注5）

注1. 本研究科の実施した2024年度修士課程学生募集において、すでに合格した者は、今回の募集に出願する資格はないものとする。

注2. 合格者については入学手続に先立って入学資格を別途確認するが、その際に提出書類等に虚偽が判明した際は遡及して合格を取り消す。

注3. 日本の大学のいわゆる飛び級による受験者は出願資格9に該当する。学力検査の際に、提出された書類と学力検査結果を総合して出願資格審査も行なわれ、その結果は学力検査の結果と合わせて合格発表に含まれる。

注4. 出願資格9により受験し、入学試験において合格と判定された者は、①2023年度の成績証明書等成績確認のための書類の提出を2024年3月に求められる場合がある。この際、成績調査の結果、入学試験時に修得が見込まれていた単位に不足があるなど優秀な成績でないとは判断した場合には、合格を取り消すことがある。②入学手続時に、退学証明書を提出すること。（したがって、在学中の大学における学士の学位を取得することは

きない。)

注5. 出願資格10による者は、事前に出願資格審査を受けなければならない。(出願資格審査の項参照) 事前の出願資格審査を受けずに出願書類を提出しても受理しない。

Ⅲ. 出 願 資 格 審 査 (出願資格10による出願該当者)

出願に先だち資格審査を行うので、次の書類を、2023年10月26日(木)午後5時までに情報学研究科教務掛(総合研究8号館1階)に提出すること。送付する場合は、必ず**書留速達便・レターパックプラス等の安全な手段により**、封筒の表に「2024年度4月期入学出願資格認定申請」と朱書(レターパックプラスの場合は「品名」に記載)すること。

1. 出願資格審査必要書類(*印は、募集要項に所定用紙が添付されている)

提出書類は日本語または英語で作成すること。日本語あるいは英語でない書類には、日本語訳あるいは英語訳を添付すること。

*	1	出願資格認定申請・調書	
	2	卒業証明書	最終出身学校が作成したもの
	3	成績証明書	最終出身学校が作成したもの

2. 審査方法及び日程

(1) 出願資格の認定申請をした者には、書類審査、並びに大学卒業程度の学力について筆記試験(教養科目、英語)及び口頭試問(専門科目)を行う。

ただし、過去に本研究科の出願資格審査を受け、出願資格を有すると認定された者は、上記必要書類の*1の申請・調書のみ提出すれば十分である。筆記試験及び口頭試問は省略する。

筆記試験及び口頭試問は、2023年11月1日(水)に本研究科において行う。

(2) 資格審査の結果は、2023年11月2日(木)に申請者へ通知する。

Ⅳ. 修士課程出願書類等(*印は、募集要項に所定用紙が添付されている)

提出書類は日本語または英語で作成すること。日本語あるいは英語でない書類には、日本語訳あるいは英語訳を添付すること。提出書類に不正のある場合は失格とし、入学後に判明した場合には、過去に遡って合格を取り消す。

*	1	入学願書	正確に記入すること
	2	成績証明書	出身・在籍大学が作成したもの(注4)参照
	3	志望説明書	これまでの学修・研究の経過、志望動機、入学後の研究の抱負などをA4判2枚以下にまとめたものを提出すること。冒頭に出願者名を明記し、卒業研究に相当する科目を履修した場合(履修中も含む)は、当該科目のテーマと内容も明記すること。(様式随意、文書作成ソフト等を使用して清書することが望ましい)
	4	在留カード又はパスポートの写し	外国人留学生で、日本に在留している者は、在留資格・在留期間及び現住所が記載された在留カードの表裏両面の写しを、海外在住の者はパスポートの顔写真のあるページの写しを、A4サイズ用の紙にコピーして提出すること。
*	5	入学検定料振込書類	入学検定料については、「EX-決済」にて支払うこと。以下のURLにアクセスし、画面の指示に従って入学検定料(30,000円)を支払い、支払い確認画面から収納証明書をA4サイズ用の紙に印刷し、出願書類と共に提出すること。 https://www3.univ-jp.com/kyoto-u/inf/

		<p>振込期間 2023年10月31日(火)～11月10日(金) (最終日は、午後5時まで。期間外取扱不可)</p> <p>* 日本国内から出願する場合 指定のコンビニエンスストア、クレジットカード(VISA、Master Card、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club INTERNATIONAL)、金融機関ATM(Pay-easy)または指定のネットバンキングのいずれかで支払うこと。(出願者本人の名義ではない(例:両親等)クレジットカードや銀行口座での支払いも可能。)</p> <p>* 日本国外から出願する場合 クレジットカード(VISA、Master Card、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club INTERNATIONAL)により支払うこと。(出願者本人の名義ではない(例:両親等)クレジットカードでの支払いも可能。) <u>居住している国、地域の事情等により、クレジットカードでの支払いができない場合は、10月31日(火)までに8頁の【問合せ先】に連絡すること。</u></p> <p>【入学検定料の免除等について】 ※1 国費留学生として入学予定のものも入学検定料を納付すること。国費留学生としての入学が決定した場合は、別途手続のうえ検定料を返還する。 ※2 平成23年3月に発生した東日本大震災、平成28年4月に発生した熊本地震、平成30年7月豪雨、平成30年9月に発生した北海道胆振東部地震、令和元年台風第19号、令和2年7月豪雨による災害救助法適用地域において、主たる家計支持者が被災した者については、罹災証明書等を得ることができる場合は、入学検定料を免除することがある。詳細については、2023年10月31日(火)までに情報学研究科教務掛まで問い合わせること。</p>
*	6 入学手続き書類送付用シール	入学手続き書類送付用とし、所定の用紙に2024年3月上旬の住所・氏名・郵便番号を記入すること。(提出後、住所変更があった場合には、速やかに届け出ること。)
*	7 受験票送付用封筒	募集要項添付の封筒に704円切手(速達・簡易書留扱い)を貼り、2023年12月上旬に受験票を受け取る住所・氏名・郵便番号を記入のこと。
*	8 合否結果通知書送付用封筒	募集要項添付の封筒に2023年12月中旬の住所・氏名・郵便番号を記入すること。(提出後、住所変更があった場合には、速やかに届け出ること。)
*	9 出願資格認定申請・調書	(出願資格9該当者のみ)
	10 教育課程表	(出願資格9該当者のみ) 在籍する学科等の開講科目の講義内容等が詳細に記載されたもの。ただし本学在学学生は不要。

(注1) II. 出願資格2の見込みの該当者は、上記書類のほか「学士の学位授与申請予定である旨の証明書」(様式随意:学位が得られないこととなった場合は、速やかに通知する旨の記載のあるもの)を提出すること。

(注2) 本学他研究科の在学学生で合格した場合は、入学手続時に退学(または修了)証明書の提出が必要である。現在の身分を偽って出願した場合は、入学後であっても、過去に遡って合格を取り消すことがある。

(注3) 外国人留学生で合格した者は、本学への入学に際して、在留資格(留学)および在留期間の記載された住民票の写しまたは在留カードの写しの提出が必要である。

(注4) 高等専門学校専攻科卒業(見込みを含む)の者については、本科・専科両方の成績証明書を提出すること。大学に編入学した者は、可能であれば編入学前の在籍学校の成績証明書も提出すること。

V. 出願手続及び注意

1. 出願者は、出願書類等を次の提出先（受付会場）へ持参または、送付すること。郵送に際しては、書留速達便・レターパックプラス等の安全な手段によるものとし、封筒の表に「2024年度4月期入学出願書類在中」と**朱書**（レターパックプラスの場合は「品名」に記載）のうえ、次の住所へ送付すること。なお、提出された出願書類に不備があれば、こちらから問い合わせることがある。
2. 受験票の発送により、受理したことへの通知に代える。
3. 出願書類受理後は、原則として出願事項の変更は認めず、出願書類が受理された場合の入学検定料の払い戻しには応じない。原則として、提出された出願書類は返却しない。

【出願書類等受付日及び提出(送付)先】

(1) 持参の場合

2023年11月10日（金）

受付時間：午前10時から正午、午後1時30分から午後5時まで。

【受付会場】

京都市左京区吉田本町

京都大学大学院情報学研究科事務室・教務掛

（総合研究8号館1階（裏表紙構内図参照））

(2) 郵送の場合

受付期間：2023年10月31日（火）～11月10日（金）午後5時（必着）

【送付先】

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

京都大学大学院情報学研究科教務掛

Tel (075)753-4894, 5500

4. 障害等があつて受験上の配慮を必要とする出願者の事前相談を受け付ける。相談の内容によっては対応に時間を要することもあるため、相談依頼文書（様式随意、ただし下記情報を含むこと）に障害者手帳の写し又は医師の診断書を添付し、10月31日（火）までに上記出願書類提出先に郵送すること。

【相談依頼文書に明記する事項】

- ・氏名、生年月日、住所、電話番号、メールアドレス
- ・志望コース名、課程（修士・博士後期）の別
- ・障害等の種類、および程度
- ・希望する配慮事項

VI. 入学者選抜方法及び学力検査日程

1. 入学者の選抜は、出願書類の内容、学力検査（筆記試験・口頭試問）の成績により行う。
なお、口頭試問の対象者は、筆記試験の結果により決定される。
2. 学力検査は、次の日程により本研究科において行う。

◎ 2024年度4月期入学第2次修士課程（先端数理科学コース）学生募集学力検査日程

試験科目の内容、出題範囲、選択形式などの詳細については、後掲Ⅶに記載されているので、熟読すること。

日 程 コース	2023年12月9日(土)		2023年12月10日(日)
	試験時間	試験科目	予 備 日
先端数理科学	10:00～11:30	基礎科目	
	13:00～14:30	専門科目	
	16:00～	口頭試問(注)	

注. 口頭試問対象者及び口頭試問日時は、2023年12月9日(土)午後3時45分(予定)に情報学研究科事務室前入試用掲示板(総合研究8号館1階)に掲示する。口頭試問対象者の中から合格者を決める。受験者多数のときは、一部の受験者の口頭試問を予備日に行うことがある。

3. 受験票は、出願時に指定された受け取り先住所に12月上旬に郵送する。12月5日(火)までに受験票が届かない場合は、本要項【問合せ先】に記載のメールアドレスに問い合わせること。なお、海外在住者には受験票をスキャンしたPDFファイルを入学願書に記載のメール宛に送付するので、紙に印刷したものを持参すること。
4. 試験場等受験に関する注意事項の掲示について
 掲示内容については各自で確認すること。電話等による問い合わせには応じない。
 日 時：2023年12月9日(土)午前9時15分までに行う。
 場 所：情報学研究科事務室前入試用掲示板(総合研究8号館1階：裏表紙構内図参照)
5. 試験当日は、試験開始20分前までに当該試験室前に集合すること。なお、口頭試問については、別の指示があるときはその指示に従うこと。
6. 学力検査(筆記試験)に関する注意事項
 - ① 試験室では必ず受験票を携帯し、試験監督の指示に従うこと。
 - ② 試験に使用を認めるものは、鉛筆・シャープペンシル・鉛筆削り・消しゴム・定規・時計(計時機能だけのもの)・ハンカチ・ティッシュペーパー(中身だけを取り出したもの)に限る。スマートフォン・携帯電話等を机の上に出すことはできない。
 - ③ 辞書・事典(電子辞書を含む)の使用を許可しない。
 - ④ その他参照物については、コースの指示に従うこと。
 - ⑤ 試験開始時間に遅れた場合は、各科目とも試験開始後30分以内に限り入室を認める。
 - ⑥ 欠席した科目の点数は0点として扱う。2科目以上欠席した場合は失格として扱うので、以後の科目を受験することができない。
7. 口頭試問に関する注意事項
 口頭試問の対象者で口頭試問を欠席した場合は失格として扱う。
8. 新型コロナウイルス感染症の流行状況等により、記載されている事項等(日程を含む)については、変更となる可能性がある。これらの情報は京都大学大学院情報学研究科ホームページのトップページ(<https://www.i.kyoto-u.ac.jp/>)にて告知する。

Ⅶ. コースの志望区分及び試験科目についての補足

1. コースの志望区分及び試験科目についての補足は、次頁に記載の通りである。

2. 志望区分について

コースの志望区分には、それぞれ収容定員があり、第一志望どおりに配属し得ない場合もあるので、志望区分の順位を出願時に申告すること。

入学願書の所定欄に、配属を志望する志望区分を熟考のうえ、指示に従って志望順に記入すること。

記入していない区分には配属の意思がないものとみなされ、得点が合格者最低点より高い場合でも不合格となることがある。

入学願書に記載された事項は、原則として願書が受理されてからは修正・変更できないため、注意して記入すること。

なお、「志望区分案内」は <https://www.i.kyoto-u.ac.jp/admission/application.html>に掲載されているので、出願前に必ず確認すること。

先端数理科学コース

(ア) 「基礎科目」についての補足

2題の必須問題と3題の選択問題の計5題が出題され、受験者は3題の選択問題の中から1題を解答時に選択して合計で3題を解答する(配点150点)。必須問題は理系学部の1、2年生で学修する程度の線型代数および微積分(留数等を利用する定積分の計算を含む)から出題される。選択問題は、線型代数、微積分に関する事項、および、常微分方程式、1変数の複素解析に関する初歩的事項、質点・質点系の力学および剛体の力学に関する事項から出題される。

(イ) 「専門科目」についての補足

「解析学」「応用数学」「工業数学・計算力学」「統計力学」「流体力学」の合計5題が出題され、各受験者は解答時にこの中から1題を選択して解答する(配点150点)。

なお、上記の「応用数学」、「工業数学・計算力学」の指す具体的な内容は、以下の通りである。

応用数学： より進んだ内容の線型代数及び微積分(ベクトル解析を含む)、1変数の複素関数論、常微分方程式、偏微分方程式(初歩的な内容)、フーリエ解析、および数値解析・数値計算に関する事項など。

工業数学・計算力学： 工学系学部で学習する程度の数学(ベクトル解析、複素解析、フーリエ解析等)に関する計算問題と数値計算に関する事項など。留数を利用する単純な定積分の計算は、原則として出題しない。

なお、試験準備の参考となる問題が本研究科ホームページには掲載されている。

(ウ) 入学選抜方法および口頭試問についての補足

基礎科目、専門科目の点数および出願書類の内容を総合して口頭試問対象者を決定し、口頭試問対象者に対して志望区分まで含めて可否により合格者を決定する2段階の選抜を行う。

受験者多数の場合は、一部の受験者の口頭試問を予備日に行うことがある。この場合、京都大学の在学生以外の受験者について、口頭試問は12月9日(土)に実施する。

口頭試問においては、志望動機、出身(在学する)大学での学習内容(特に卒業研究に関する内容)、志望区分及び希望する研究分野、筆記試験の内容などについての試問を行う。

(エ) 志望区分及び研究分野

以下の6つの志望区分の中から、**順位を付けて3つまで**記入すること。

志望区分	研 究 分 野
先端-1	応用解析学、逆問題、非線型問題、偏微分方程式、数値解析、確率論、フラクタル解析
先端-2	非線形力学、非線形振動系、計算物理学
先端-3	理論神経科学、非平衡・非線型物理学、ネットワーク結合力学系
先端-4	数値シミュレーション、計算力学、計算工学
先端-5	流体力学、希薄気体力学、流体の数値計算
先端-6	統計的信号処理

志望区分の順位等については口頭試問の際に再確認し、その際に願書に書かれているものを変更することも認める。

(オ) コースのホームページ

<https://www.acs.i.kyoto-u.ac.jp/>

(カ) 試験科目には「英語」を課していないが、入学後の学習では英語力は必要である。

VIII. 合格者発表

下記日時に掲示するとともに、合格者には合格通知書を送付する。
(電話等による問い合わせには応じない。)

日 時：2023年12月15日(金) 午後3時

場 所：情報学研究科事務室前入試用掲示板(総合研究8号館1階)

当研究科ホームページにも上記同時刻以降、12月21日(木)まで掲載する。

<https://www.i.kyoto-u.ac.jp/admission/pass.html>

入学手続については、2024年3月上旬に合格者あて郵送等により通知する。

IX. 入学料及び授業料

入 学 料 282,000円(予定)

授 業 料 年額 535,800円(予定)

注1：国費外国人留学生は入学料・授業料ともに不要。

注2：入学料および在学中に授業料が改定された場合には、改定時から適用される。

X. 入学試験の成績提供について

入学試験の成績提供を希望する受験生本人に対し、入学試験の成績の情報を提供する。

詳細は、情報学研究科ホームページ(<https://www.i.kyoto-u.ac.jp/>)の入試情報に請求方法や申請期間を掲載する。

XI. 個人情報の取扱いについて

個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「京都大学における個人情報の保護に関する規程」に基づいて取り扱う。入学者選抜を通じて取得した出願書類等に記載されている、氏名、性別、生年月日、住所等の個人情報(成績判定に関する情報を含む)は、①入学試験の実施、②入学手続き、奨学金制度等、③入学者の受入準備等の業務目的において利用する。

【募集要項の請求】

募集要項を郵送で請求する場合は、封筒に「募集要項請求」と朱書で明記し、返信用のレターパック(送付先住所・氏名・郵便番号・電話番号を明記したもの)と、必要な募集要項の詳細(修士課程または博士後期課程、推薦選抜・一般選抜の種別、○年度○月期入学等)を記載した用紙を同封のうえ、下記【問合せ先】へ請求すること。出願に際しては募集要項に添付の書類が必要である。

【問合せ先】

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

京都大学大学院情報学研究科教務掛(総合研究8号館)

メールアドレス: jyoho-kyomu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

TEL (075)753-4894, 5500

(時間 平日：午前9時～午後5時〈正午～午後1時を除く〉)

2023年10月